

# ら い 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 131 8月号

2016年8月1日 発行  
たつの市立図書館

龍野図書館 TEL(0791)62-0469

新宮図書館 TEL(0791)75-3332

揖保川図書館 TEL(0791)72-7666

御津図書館 TEL(079)322-1007

<http://www.city.tatsuno.lg.jp/library/index.html>



携帯専用サイトへは、  
左のQRコードから  
(<https://www.lib100.nexs-service.jp/tatsuno-city/mobile/index.do>)

## 読書と私 No.122

### 「入院生活中的の救い」

宍粟市 菊池 洋志

飽き性なためか、なにをやっても続かない私ではありますが、読書は小さい頃からこつこつと続けてきました。ハリーポッターが大人気のため品薄になっていたとき、代わりに友達に勧められた『ダレン・シャン』というファンタジー小説を読み込み、その濃密な内容にどっぷりと浸かった記憶があります。

今年のはじめにスポーツの大会で骨折し、春先まで入院生活を送っていました。手術直後は傷口の痛みや気分の落ち込みで何もする気になれませんでした。次第に気持ちの整理もついて、せつかく時間が取れるチャンスなんだから色々な本を読んでみようと思えるようになりました。最初はスマートフォンで電子書籍を購入して乱読していたのですが、便利な反面すぐにあれこれ購入してしまい、出費がかさんでしまうところが悩みどころでした。そこで、新宮図書館の司書さんには大変お世話になりました。自由に外出することが難しい私の代わりにリクエストしたジャンルの本を見繕っていただいたり、おすすめの本まで選んでいただいたおかげで、この突然の長期休暇を退屈せずに過ごすことができました。中でもおもしろかったのは中村文則の『掬摸』や近藤史恵の『スタバトマーテル』などです。

退院しても定期的に図書館に通うことが習慣になっています。読書は知らない世界や考え方を経験する手段として、欠かすことのできない大切な趣味になっています。これからも末永くよろしくお願いします。



中村文則著 河出書房新社



近藤史恵著 中央公論社

※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。

『群青の墓標～最後の沖縄県官撰知事・島田勲』 横家 伸一 著 文芸社



71年前、日本で唯一の地上戦が沖縄で起こった。そのようななか、わずか5ヶ月間、官撰の沖縄県知事であった島田勲<sup>あきら</sup>は、今なお沖縄県民に慕われているという。本書は、島田の生涯について、たつの市在住の著者が執筆したものである。

島田は、神戸市で生まれ、学生時代は野球に親しみ、チームワークやフェアプレイを大切にす人物であったという。東京帝国大学卒業後、文官高等試験に合格、内務省に入って全国を転々とし、多くの部下から慕われていた。また、本好きで中でも『南洲翁遺訓』<sup>「なんしゅうおういくん」</sup>（西郷隆盛の遺訓集）や『葉隠』（佐賀藩士山本常朝の武士の心得）を生涯愛読した。

昭和19年末、沖縄に司令部を置く陸軍の第32軍と意見が対立していた県は、知事の現地

不在が続き、県民疎開がはかどっていなかった。その中、島田に県知事の打診があった。危険なためすでに4、5人が断っていたが、即答で受け入れた。沖縄に着任するなり、わずか数ヶ月の間に約10万人の県民を県北部に疎開させ、人脈を使って台湾からの食糧確保に成功した。昭和20年6月に“県庁解散”するまで、県民に安全な場所の情報を伝えるために危険な軍司令部に足を運び、また県庁を機能させようと知事室を地下壕に置き戦況に合わせて転々とし、一人でも多くの県民に生き抜いて欲しいという思いで尽力した。

戦後70年以上経ったが、兵庫県出身にこのような素晴らしい人物がいたことをいつまでも忘れずにいたいと思わせる一冊である。

（揖保川図書館 竹内）

※8月7日（日）揖保川図書館で本書についての著者による講演会を催します。

トピックス

イベントのお知らせ

※申込、問い合わせは各図書館まで

工作教室

ペットボトルで作る的あて空気砲で遊ぼう！  
 【日時】8月18日（木）  
 10：00～11：30  
 【場所】アクアホール 3階 研修室  
 【対象】小学生以上  
 【定員】20名（先着順）  
 【持ち物】はさみ  
 【申込】揖保川図書館（電話可）

おはなしのじかんの後は、  
**牛乳パックであそぼう！**  
 おはなしを聞いた後に発射台つきピコウキを作ります。  
 【日時】8月20日（土）  
 10：15～11：45  
 【場所】新宮図書館 おはなしのへや  
 【対象】5歳から（小学1年生以下は保護者同伴）  
 【定員】20名（先着順）  
 【持ち物】牛乳パック1本、輪ゴム1本、はさみ、ホッチキス、油性マジック  
 【申込】新宮図書館（電話可）

図書館でドキドキ★ワクワク  
 手品ショー

間近で見る手品はドキドキ、ワクワク！  
 【演者】後藤 正則さん  
 【日時】8月20日（土）  
 10：30～11：30  
 ※10分前にご来館ください  
 【場所】御津図書館 2階 多目的室  
 【対象】5歳以上（保護者の参加も可）  
 【定員】50名（先着順）  
 【申込】御津図書館（電話可）

「新宮焼と芳野俊通の世界」

江戸時代に始まった新宮焼の紹介と陶芸家芳野俊通氏の作品を展示します。

＜展示期間＞9月1日（木）～29日（木）

＜講演会＞ 【演題】「新宮焼の歴史」 【講師】義則 敏彦氏（歴史文化財課）  
 【日時】9月17日（土）14：00～15：00 【場所】新宮図書館 研修室  
 【対象】一般（高校生以上） 【定員】30名（先着順） 【申込】新宮図書館（電話可）

「陶器のアクセサリを作ろう」

世界に一つしかないアクセサリを陶芸で作ります。

【講師】芳野 俊通氏（陶芸家・新宮町在住）  
 【日時】連続2回講座 9月11日（日）・10月2日（日）13：30～15：30  
 【場所】新宮図書館 研修室 【対象】一般（高校生以上） 【定員】30名（先着順）  
 【参加費】1,000円（材料費） 【申込】新宮図書館（電話可）

揖保川図書館 読書講演会

「熊本地震と山崎断層」

私たちに身近な山崎断層と先の熊本地震について、お話を伺います。

【講師】西影 裕一氏  
 【日時】9月10日（土）  
 14：00～15：30  
 【場所】アクアホール3階 研修室  
 【対象】一般  
 【定員】40名（先着順）  
 【申込】揖保川図書館（電話可）

## おすすめする子どもの本・121

### 『ちいさな ふるい じどうしゃ』

マリー・ホール・エッツ さく たなべ いすず やく 富山房

あるところに、小さな古い自動車がありました。あるとき運転手さんが、お百姓さんの家に水をもらいに行っている間に「じっとしているのなんか嫌だ。そんなことはお断りだ」と丘を駆け下り始めました。まもなく小さな古い自動車は、一匹のかえるに会いました。かえるは「待っててよ、すぐに君の通り道からどくからさ」と頼みますが、小さな古い自動車は「いやだ」と物凄い勢いでぶつかって、かえるは空中に跳ね飛ばされて、こぶをつくってしまいます。

次に、うさぎたちに会いました。うさぎ

たちも「待っててください」と頼みますが「いやだ」と言ってぶつかって、全速力で走って行ってしまいました。それから、あひる、牛、豚、お百姓のおばさんと、次々に跳ね飛ばしながら進んでいきます。

おしまい、大きな黒い機関車に会います。機関車が「とまれ、とまれ」と汽笛を鳴らして合図をしても、小さな古い自動車は線路の真ん中に突っ込んで、機関車とぶつかり、ばらばらになってしまいました。

「いやだ、いやだ」と言いながら農場を突っ走る小さな古い自動車のきかんぼぶりにはらはらさせられますが、ばらばらになった部品が、動物たちのおもちゃや家となる結末はユーモラスです。読んであげるなら4歳から。(龍野図書館 三葉)

### 『エンデュアランス号大漂流』

エリザベス・コーディ・キメル 作 千葉 茂樹 訳 あすなる書房

1914年、極地探検家シャクルトンが南極大陸を徒歩で横断という計画に挑戦するため、27名の隊員とともに、エンデュアランス(不屈の精神)と名付けられた大型帆船で出航した。

しかし僅か1ヶ月半で船は氷に閉じ込められ、動かなくなった。隊員たちは、春になれば解放されると信じながら、厳しい冬に備え、アザラシ狩りで食糧を蓄えつつ、氷上サッカーで体力を維持し、仮装大会で退屈を紛らわせた。

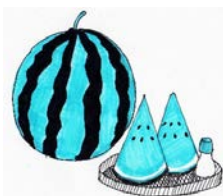
だが、春になっても事態は好転せず、船は氷に押しつぶされ、沈没した。隊員たちは大きな氷盤にキャンプを設営し、海流に運ばれながら陸を目指すこととなるが、その氷盤も崩れ、救命ボートでの船旅が始ま

る。

3隻のボートは氷の波と激しい風にもまれ、渇きに苦しみながらも無人島に上陸するが、この島で冬を越せる保証も救助船が来る可能性もなかった。シャクルトンが人の住む島へ助けを求めに行くことを決意し、木製のボートで世界一の荒海を1300km漕ぎ渡り、さらには1800m級の山脈を装備もなく乗り越え、切り立った崖を滑り降り、それを成し遂げる。

当初の目的は達せなかったが、2年近く極寒の地をさまよいながらも、28人全員が生還を果たした真実の記録。同行した写真家・ハーレーの写真も、厳しい自然の様子と、ユーモアを忘れず互いを信じ続け、希望を失わなかった隊員たちの姿を伝えている。5年生くらいから。

(新宮図書館 梅村)



## 各館の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

館名	行事	対象(上段)・時間(下段)	8月の予定
龍野図書館 TEL(0791) 62-0469	読書会	一般	12日
		第2金曜日(10時~11時30分)	『明るい方へ』太田 治子 著
新宮図書館 TEL(0791) 75-3332	●えほんのじかん	2~4歳児、保護者 第2・5月曜日・第2日曜日 (11時~11時20分)	8日・14日・29日 『きのぼりこねこ』他
	■おはなしのじかん	5歳児~ 毎週土曜日(10時15分~10時45分)	6日・13日・20日・27日 ※20日はおはなしのあと、工作教室をします。 くわしくは2ページをごらんください 「ミアッカどん」他
揖保川図書館 TEL(0791) 72-7666	●えほんのじかん	2~4歳児、保護者 第1・2・3土曜日(10時30分~10時50分)	6日・13日・20日 『とてもとてもあつひ』他
	■おはなしのじかん	5歳児~ 第1・2・3土曜日(11時~11時30分)	6日・13日・20日 「三まいの鳥の羽」他
	読書会	一般 第3金曜日(10時~12時)	19日 『たそがれ清兵衛』藤沢 周平 著
御津図書館 TEL(079) 322-1007	●えほんのじかん	1歳~4歳児、保護者 第2・3日曜日(11時~11時20分)	14日・21日 『そらいろのたね』他
		5歳児~ 第2・3日曜日(11時30分~11時50分)	14日・21日 『ものぐさトミー』他
	読書会	一般	17日
		第3水曜日(13時30分~15時30分)	『ねこに未来はない』長田 弘 著